

令和8年度

平川二期農業水利事業所庁舎解体撤去工事

特 別 仕 様 書

東 北 農 政 局

第1章 総 則

平川二期農業水利事業所庁舎解体撤去工事の施工に当っては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書」（以下「解体共通仕様書」という。）、「公共建築工事標準仕様書」（以下「建築標準仕様書」という。）及び農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」（以下「土木共通仕様書」という。）に基づいて実施する。

これら共通仕様書によるほか特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、東北農政局平川二期農業水利事業所庁舎の解体撤去を行うものである。

2. 工事場所

青森県弘前市大字高田 1－10－9

3. 工事概要

本工事の概要は、次のとおりである。

- | | |
|---|-----|
| 1) 庁舎解体撤去 | 1 棟 |
| (鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積614.74㎡ 電気設備・機械設備含む。) | |
| 2) 外構解体撤去 | 1 式 |
| (囲障、場内舗装、屋外排水設備、電気・機械設備（屋外）、雑工作物等) | |
| 3) 整地 | 1 式 |
| 4) 立入防護柵及び有価材置場設置 | 1 式 |
| 5) 産業廃棄物処理 | 1 式 |

4. 工事数量

別紙工事数量表のとおりである。

第3章 施工条件

1. 庁舎解体の施工機械

庁舎解体は、コンクリート圧碎機による施工を考えている。

2. 工事を施工しない日及び工事を施工しない時間帯

- | | |
|-----------------|---|
| (1) 工事を施工しない日 | 原則、土曜日、日曜日、祝日、年末・年始（12月29日～1月3日）ただし、発注者と受注者の間で協議の上、別に定める場合はこの限りで無い。 |
| (2) 工事を施工しない時間帯 | 平日の午後5時から午前8時まで。ただし、発注者と受注者の間で協議の上、別に定める場合はこの限りで無い。 |

第4章 現場条件

1. 工事用電力及び用水

本工事に使用する電力設備及び用水は、受注者の責任において準備しなければならない。

2. 第三者に対する措置

(1) 本工事の施工に当たっては、第三者に対する災害防止と粉塵飛散防止のための対策を施すものとする。

(2) 本工事場所は都市計画法（昭和43年法律第100号）第9条第6項に規定する第2種地域で、振動規制法（昭和51年法律第64号）第3条第1項に規定する第1種区域の住居地域かつ騒音規制法（昭和43年法律第98号）第3条第1項に規定する第2種区域の住居区域であり、騒音、振動等の対策については、十分に配慮するとともに、地域住民との協調を図り工事の円滑な進捗に努めなければならない。

なお、次の基準を超える場合には、直ちに作業を中止し、監督職員と協議しなければならない。騒音基準：85dB 振動基準：75dB

(3) 保安対策

1) 本工事に配置する交通誘導警備員は、原則として警備業法に定める警備員（指導教育責任者講習修了、指定講習、または、基本教育及び業務特別教育を受けた者）であって、交通誘導の専門的な知識・技能を有する者とする。

2) 交通誘導警備員の配置は、下表のとおりとするが、条件変更、道路管理者及び所轄警察署の打合せ結果、又は現地交通状況等により、新たに交通誘導警備員が必要な場合は、監督職員と協議するものとする。

配置場所	交通誘導警備員	編成	昼夜別	交代要員の有無
市道外崎3丁目2号線場内進入路出入口部	2名/日	1名	昼間	無

(4) 公共道路の使用に当たっては、地域住民及び一般車両の通行を優先し、通行に支障を及ぼさないよう受注者において事故防止に努めなければならない。

また、善良な道路使用にも関わらず路面等の補修が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

なお、受注者の責により当該道路に損傷を与えた場合は、速やかに関係者と協議の上、受注者の責任により復旧するものとする。

(5) 工事用車両による公共道路の路面汚濁の防止及び、路面清掃等の維持管理を行うものとする。

(6) 工事用車両の運行に当たっては、通学時間帯に配慮して行うものとする。

3. 関係機関との調整

本工事において、関係機関との調整が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

第5章 指定仮設

1. 騒音・振動対策

鋼製枠組足場に防音シート張りを設置するものとする。また、低騒音・低振動に努めるとともに、機械の使用にも配慮して施工しなければならない。

2. 粉じん対策

上記1のシート張りのほかに解体時の粉じん対策用の散水養生は、庁舎敷地内の上水道給水管に仮設水栓を設けて行うものとする。

3. 敷鉄板

庁舎敷地出入り口に道路側溝の保護及び振動防止のため、敷鉄板（ $t=22\text{mm}$ ）の敷設を考えているが、それ以外に必要となった場合は監督職員と協議するものとする。

4. 安全対策（架空線等公衆物損事故防止）

土木共通仕様書第1編3-2-2一般事項1. 施工計画（2）において調査把握した工事区域内に存在する架空線等上空施設の下を横断する箇所には、高さ制限を確認するための安全対策施設（簡易ゲート等）を設置するとともに、重機等の横断に際しては適切に誘導員を配置し、誘導指示を行わなければならない。

なお、安全対策施設の設置等については、施工前に監督職員と協議するものとする。

第6章 工事用電力

本工事に使用する電力設備は、受注者の責任において準備しなければならない。

第7章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は、次のとおりである。なお、これによりがたい場合は、同等品相当の材料を使用するものとし、監督職員の承諾を得るものとする。

また、JIS規格品は、改正工業標準化法（平成16年6月9日交付）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場（JISマーク表示認証工場）での製造品とする。

（1）石材及び骨材

再生クラッシャーラン RC-40

2. 見本又は資料提出

主要材料及び次に示す工事材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

材 料 名	提 出 物
再生クラッシャーラン	試験成績書（第7章1（1）参照）
防音シート	カタログ・試験成績書
山砂	粒度分析表

3. 資材の調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

また、購入費用及び輸送費用等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資 材 名	規 格	調達地域等
再生碎石	R C - 4 0	弘前市
購入土（山砂）		弘前市
仮設材（敷鉄板）		弘前市、平川市

4. 工事に使用する土砂（購入土）について

受注者は、工事に使用する土砂を現場に搬入する前に、土砂が採取された箇所土砂採取に係る関連法案の許可書の写しを監督職員に提出しなければならない。（採石法第33条による採取計画認可書、砂利採取法第16条による採取計画許可書、森林法第10条の2による林地開発許可書）

第8章 施 工

1. 一般事項

工事の着手に先立ち、実施工程表の補足として、週間又は月間工程表、工種別工程表等を作成し監督職員に提出するものとする。

2. 基礎杭引き抜き

基礎杭の引き抜きは、輪投げ工法で考えているが、引き抜きに当たり、障害により一部引き抜きが困難となった場合は、監督職員と協議するものとする。

3. アスベスト含有製品の撤去

(1) アスベスト含有製品撤去

庁舎外壁の塗材及び打継目地の除去は、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号）における作業レベル3で超高压水洗工法により行うものとする。

(2) アスベスト含有成形板撤去

庁舎1階廊下の巾木、1階廊下・書庫の天井材、2階所長室の巾木、天井材のアスベスト含有成形板の撤去は、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号）における作業レベル3で湿潤化したのち手ばらしでおこなうものとする。

(3) 撤去及び撤去後の細分と保護は、作業員が素手で触らないよう化学防護ゴム手袋、万一の飛散と吸引防止のため防塵めがね、防塵マスク、フィルターを着用して行うものとする

4. 電気設備の解体撤去

(1) 電気設備の解体撤去到に当たり、分電盤・ボックス類・照明器具（蛍光灯等含む）・スイッチ・コンセント・プレート等、及び目視可能な表面に設置されているものは、躯体の解体前に撤去し、不必要な破壊や混在を防止して分別集積するものとする。

(2) 庁舎の躯体コンクリート等に埋設されている電線管及びケーブル等は、一体的に解体撤去を行い、分別集積するものとする。

(3) 天井及び分電盤等器具類の解体後、ケーブル及び電線は引き出して撤去を行い、束ねて分別集積するものとする。

5. 機械設備の解体撤去

(1) オイルタンク及びオイルサービスタンク並びにオイルポンプ・油管は、油や雨水の所在を確認し、抜き取りが必要な場合は廃棄物処理方法と処理施設先について監督職員と協議するものとする。油の抜き取り作業後、設備毎の廃棄物処理を行うものとする。

6. 建設資材廃棄物等の搬出

建設資材 廃棄物	処 理 施設名	住 所	受け入れ 時 間	事業区分
・コンクリート殻、 くず（無筋、鉄筋） ・アスファルト殻、 くず	(有)弘前重機	平川市松館浅井2	午前8時～ 午後5時	再資源化
木くず	北砲興発(株)	黒石市富田123	午前8時～ 午後5時	再資源化
廃プラスチック	(株)山本工業	青森市小館亀山126-1	午前8時～ 午後5時	最終処分
・アスファルト防 水 ・石膏ボード類 ・畳、繊維くず	(株)丸勝小野商事マ ルカツリサイクルセンター	南津軽郡田舎館村高樋 川原田32-1	午前8時～ 午後4時45 分	再資源化
・陶磁器くず、タイ ル ・ガラスくず	青森産業廃棄物処 理事業協同組合	青森市鶴ヶ坂田川 72-251	午前8時～ 午後5時	再資源化
石綿含有建材、製 品 （非飛散性成形 板）レベル3	青森産業廃棄物処 理事業協同組合	青森市鶴ヶ坂田川 72-251	午前8時～ 午後5時	最終処分 埋立て
電気混合物	(株)寺崎リサイクルプラ ント	弘前市清野袋川田515-1	午前8時～ 午後5時	再資源化
蛍光管	大矢建設工業(株)	青森市大字野沢字川部 8-1	午前8時～ 午後5時	再資源化
保温材	(株)青森クリーン浪岡 事務所	青森市浪岡大字徳才子 山本105-59	午前8時～ 午後5時	最終処分

7. 発生材

- (1) 本工事の施工に伴い発生する建設副産物のうち、有価物スクラップの金属類は種類毎（鉄筋、鉄くず、アルミ、ステンレス、銅管、銅線）に重量の計量を行い、発生材報告書を監督職員に提出するものとする。
- (2) 有価材は、庁舎解体後に計量が可能な計量所で計量した後、庁舎敷地内の指定された場所に集積するものとし、仮囲いを施して飛散しないように保管するものとする。
- (3) PCB含有物（蛍光灯安定器、盤内コンデンサ他）が存在した場合は、種類毎に重量の計量を行い、発生材報告書を監督職員に提出するものとする。処理方法または、保管場所は監督職員が指示するものとする。
- (4) アスベスト廃材は、密封処理（二重梱包）とする。
- (5) 空調設備の冷媒フロン回収は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）に基づき、各基準により適正に算定、充填・回収、破壊処理、証明書交付、記録・報告等を行うものとする。

8. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程毎の作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

工 程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	工 程	作業内容	分別解体等の方法
	①建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の 取り壊し ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	②屋根構造	屋根構造の取り壊し ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	③外装材・上部構造	外装材・上部構造の 取り壊し ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	④基礎構造	基礎の取り壊し ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤その他 (構内舗装等)	その他の取り壊し ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

第9章 施工管理

1. 主任技術者の資格

主任 技術者の資格は、1 級若しくは2 級建築施工管理技士（建築）又は同等以上の資格を有するものとする。

なお、同等以上の資格を有する者とは、次の者とする。

- ・ 1 級建築士又は2 級建築士の資格を有する者

2. 施工管理

施工管理は、解体共通仕様書及び建築標準仕様書並びに土木共通仕様書によるものとする。

第10章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

- 1) 地下埋設物の出現により撤去を変更追加する場合
- 2) 庁舎及び有価材一時置き場の仮設に変更が生じた場合
- 3) 交通誘導警備員の配置及び員数に変更が生じた場合
- 4) 仮設水道使用量（粉じん対策用散水）に変更が生じた場合
- 5) 雨水排水設備の撤去範囲に変更が生じた場合
- 6) オイルタンク及びオイルサービスタンク並びにオイルポンプ・油管内の廃油処理等に変更が生じた場合
- 7) 地下浄化槽内の汚物処理等を変更追加する場合
- 8) アスベスト含有建材の定性分析を変更追加する場合
- 9) 立入防護柵の延長を変更追加する場合
- 10) 建設資材廃棄物の搬出場所及び数量等に変更が生じた場合（受注者の責によらない）
- 11) 有価材の数量に変更が生じた場合（受注者の責によらない）
- 12) 熱中症対策に係る費用の変更が生じた場合
- 13) 現場環境（快適トイレ）の整備について、発注者及び受注者協議の上、整備に必要な費用の変更が生じた場合
- 14) 女性も働きやすい現場環境（トイレ・更衣室）の整備について、発注者及び受注者協議の上、整備に必要な費用の変更が生じた場合
- 15) 除雪の必要が生じた場合。
- 16) 設計変更に必要な調査、測量、設計、図面作成、数量算出を監督職員が指示した場合
- 17) 第三者との協議により変更が生じた場合
- 18) その他発注者及び受注者協議の上、必要と認めた場合

第11章 その他

1. 電子納品

工事完成図書は、建築標準仕様書 1 章 7 節に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・工事完成時の提出図書の電子媒体（CD-R 若しくは DVD-R） 正副 2 部
- ・工事完成時の提出図書 1 部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

2. 週休 2 日による施工

(1) 本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して週休 2 日に取り組む旨を協議したうえで工事を実施する週休 2 日促進工事（受注者希望方式）である。

週休 2 日の取組の希望の有無を工事着手前に監督職員に工事打合書等で報告するものとする。週休 2 日の取組を希望しない受注者は（3）及び（4）に規定する義務を負わない。

(2) 週休 2 日の考え方は以下のとおりである。

- ① 「週休 2 日」とは、対象期間において、工期中の全ての週における週休 2 日以上
の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- ② 「対象期間」とは、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完
成日までの期間をいう。なお、年末年始 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作のみ
を実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらか
じめ対象外とした内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なく
される期間など）は含まない。
- ③ 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を
含めて 1 日を通して現場が閉所された状態をいう。
- ④ 現場閉所率の算定においては、降雨、降雪等による予定外の閉所日についても、
現場閉所日数に含めるものとする。

(3) 受注者は、工事着手前に、週休 2 日の取得計画が確認できる「現場閉所予定日」
を記載した「実施工程表」等を作成し、監督職員の確認を得た上で、週休 2 日に取
り組むものとする。工事着手後に、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都
度「実施工程表」等を提出するものとする。監督職員が現場閉所の状況を確認する
ために「実施工程表」等に「現場閉所日」を記載し、必要な都度、監督職員に提出す
るものとする。また、施設管理者の承諾を前提に週休 2 日促進工事である旨を仮囲
い等に明示する。

(4) 監督職員は、受注者が作成する「現場閉所日」が記載された「実施工程表」等により、
対象期間内の現場閉所日数を確認する。

(5) 予定価格のもととなる当初積算においては、工期中の全ての週における週休 2 日
以上を前提に、下表に示す補正係数を労務に乗じている。

補正対象	全ての週で 2 日以上	全ての月で 4 週 8 休以上	全体で 4 週 8 休以上
労務費	補正係数 1.02	補正係数 1.02	補正係数 1.00

(6) 発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、4 週 8 休に満たない場合、上記に示す
現場閉所率に応じた補正係数を用いて労務費を補正し、請負代金を減額変更する。

3. 熱中症対策に係る費用の計上

本工事は、次の熱中症対策を実施する場合については、受発注者間で必要な設置期
間等を協議のうえ、設計変更により対応する試行工事である。

- 1) 遮光ネット（足場に設置するものに限る）
- 2) ドライミスト
- 3) 暑さ指数（WBGT 値）の計測装置

4. 現場環境の改善の試行

本工事は、現場環境及び女性も働きやすい現場環境の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

なお、トイレは男女別トイレを基本とし、次の設備・機能を満たすものとする。

- 1) 洋式便座
- 2) 簡易水洗
- 3) 臭い逆流防止機能（フラッパー機能）
- 4) 容易に開かない施錠機能（二重ロック等）
- 5) 照明設備（電源がなくても良いもの）
- 6) 付属設備（衣装掛け等のフック付き又は荷物置き場・鏡・手洗いの機能）

第12章 定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

工 事 数 量 表

令和8年度 平川二期農業水利事業所庁舎解体撤去工事				
工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
I. 直接工事費				
1. 直接仮設				
1) 外部足場				
外部足場(手すり先行方式)	枠組本足場 900幅 安全手すり共 2箇月	掛㎡	674.0	
安全手すり	2 箇月	掛m	85.3	
防音シート張り	防炎 2箇月	掛㎡	674.0	
枠組本足場運搬	4 t 車	m ²	674.0	
安全手すり運搬	4 t 車	m	85.3	
防音シート運搬	4 t 車	m ²	674.0	
2) 内部足場				
内部脚立足場	1 箇月 H=1.8m 階高4.0m以下 庁舎1・2階	床㎡	615.0	
内部脚立足場運搬	4 t 車	m ²	615.0	
3) 水替費				
水中ポンプ	口径50mm 水替え用 1箇月	台	2.0	
沈砂槽	1m3 水替え用 1箇月	台	2.0	
塩ビ送排水ホース水替え用	1箇月	m	50.0	
2. 庁舎解体費				
2-1. 庁舎建物解体				
1) コンクリート解体				
基礎部躯体取壊し	均しコンクリート共 ニブラー バックホウ0.8m ³ 超低騒音 排対2次 コンクリート量169.9m ³ (土間含む)、小割、分別、積込、散水、鉄筋切断共	建m ²	307.0	基礎撤去部の根切り・埋戻し・敷均しを含む。
R C造地上部躯体取壊し	有筋 ニブラー バックホウ0.8m ³ 超低騒音 排対2次 コンクリート量319.0m ³ 、小割、分別、積込、散水、鉄筋切断共 バックホウ0.5m ³ 超低騒音 排対2次	延m ²	615.0	
機械運搬	11t車 バックホウ0.8m ³ 級 ニブラー	台	2.0	
機械運搬	11t車 バックホウ0.5m ³ 級	台	1.0	
2) P C杭引き抜き				
P C杭引き抜き	350φ L=13m	本	46.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
P C杭引き抜き	300φ L=13m	本	2.0	
埋戻し（購入土 埋戻し用山砂）		m ³	118.0	山砂は20%の割増しを含む。
機械運搬	11t車 バックホウ0.8m ³ 級 杭引き抜き用	台	1.0	
3) 土工				
埋戻し（購入土 埋戻し用山砂）	バックホウ0.8m ³ 級 超低騒音 排対2次	m ³	149.0	山砂は20%の割増しを含む。
機械運搬	11t車 バックホウ0.8m ³ 級	台	1.0	
機械運搬	11t車 ブルドーザー3t	台	1.0	
4) 仕上げ材撤去				
仕上等取壊し	・床仕上げ材 ビニル床タイル、磁器質タイル、OAフロー 500角、ビニル巾木（アスベスト含有） ・壁仕上げ材 石膏ボード、ビニルクロス貼り ・天井仕上げ材 塩ビ製モルディング、化粧石膏ボード（アスベスト含有） 化粧石膏ボード（アスベスト無）、パー ライト吹付、フレキシブル板EP塗、白セ ント吹付、スレートボード、石膏ボード （アスベスト含有）、石綿吸音板（ア スベスト含有） ・ダクト、保温材等含む	延m ²	615.0	
5) 防水材撤去				
屋根シート防水撤去	厚1.2	m ²	372.0	
6) 建具等撤去				
AW1, AW1-1（枠共）引違窓撤去	1800×1500mm 1 5箇所 人力	m ²	40.5	
AW2, AW2-1, AW2-2（枠共） 引違窓撤去	900×1500mm 3箇所 人力	m ²	4.9	
AW3（枠共）引違窓撤去	1800×600mm 1箇所 人力	m ²	1.1	
AW4（枠共）引違窓撤去	1250×1500mm 4箇所 人力	m ²	7.5	
AW5（枠共）引違窓撤去	600×600mm 2箇所 人力	m ²	0.7	
AW7（枠共）片開、内倒し2段窓撤去	800×850mm 1箇所 人力	m ²	0.7	
AW8（枠共）引違窓撤去	1680×1500mm 7箇所 人力	m ²	17.6	
AW9（枠共）2連引違窓撤去	3270×1500mm 2箇所 人力	m ²	9.8	
AG1～3（枠共）片開、ガラリ、FD付撤去	200～700×250～300mm 3箇所 人力	m ²	0.3	
SD1（枠共）両開、フレームア、ランマ付撤去	2880×2590mm 1箇所 人力	m ²	7.5	
SD2（枠共）両開、フレームア、ランマ付撤去	2860×2590mm 1箇所 人力	m ²	7.4	
SD3（枠共）両開、フレームア、ランマ付撤去	1190×2350mm 1箇所 人力	m ²	2.8	
SD4（枠共）両開、フラッシュ戸	1800×2350mm 1箇所 人力	m ²	4.2	
SD5（枠共）片開、フラッシュ戸 、ガラリ付撤去	900×2000mm 2箇所 人力	m ²	3.6	
SD6（枠共）片開、フラッシュ戸 、ガラリ付撤去	900×2000mm 2箇所 人力	m ²	3.6	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
S D 7 (枠共) 両開、フラッシュ戸撤去	600×1500mm 1箇所 人力	m ²	0.9	
WD 1 (枠共) 両開、親子フラッシュ戸 、ガリ付撤去	1200×2000mm 2箇所 人力	m ²	4.8	
WD 2 (枠共) 両開、親子フラッシュ戸 、ガリ付撤去	1190×2000mm 6箇所 人力	m ²	14.3	
WD 4 (枠共) 片開、フラッシュ戸撤去	800×2000mm 2箇所 人力	m ²	3.2	
WD 5 (枠共) 片開、フラッシュ戸撤去	900×2000mm 3箇所 人力	m ²	5.4	
WD 6 (枠共) 片開、フラッシュ戸撤去	600×1800mm 4箇所 人力	m ²	4.3	
WD 7 (枠共) 片開、フラッシュ戸撤去	900×1800mm 2箇所 人力	m ²	3.2	
P 2 (枠共) 片開、フラッシュ戸 、パーテーション撤去	1760×2300mm 1箇所 人力	m ²	4.1	
O S 1、鋼製シャッター撤去 (レール共)	6135×2300mm 1箇所 人力	m ²	14.1	
O S 2、鋼製シャッター撤去 (レール共)	4250×2300mm 1箇所 人力	m ²	9.8	
カーテン撤去		m ²	3.6	
ブラインド撤去	アルミ	m ²	69.5	
7) ガラス等撤去				
ガラス撤去	厚6.3	m ²	98.0	
8) 流し台等撤去				
流し台撤去	1槽シンク、B=901～1200mm	台	2.0	
ガス台撤去	B=900mm以下	台	1.0	
吊り棚撤去	片面、B=1500mm以下	台	2.0	
9) 畳撤去				
畳撤去		畳	4.0	
2-2. アスベスト除去				
1) 外部 (外壁複層仕上塗材除去)				
床面養生	シート防水 t=0.8mm	m ²	70.0	
壁面養生	ポリエチレンシート t=0.1mm	m ²	312.0	
天井養生	ポリエチレンシート t=0.1mm	m ²	70.0	
除去汚染水貯留槽室	単管組等による仮設屋根共 養生 含む	室	1.0	
貯留タンク	5m3タンク 清掃含む 運搬共	台	3.0	
資機材等運搬費		式	1.0	
作業用消耗品	防護衣・マスクフィルター等	m ²	312.0	
仮設発電機	25KVA 燃料含む	台	1.0	
アスベスト含有壁面等仕上塗材除去工	超高圧ウォータージェット・ 100Mpa/cm ² ～245Mpa/cm ²	m ²	312.0	
除去アスベスト汚泥水吸引工	バキューム装置	m ²	312.0	
汚染水処理工	0.2ミクロン膜ろ過処理	m ²	312.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
汚泥処理工	吸水性凝固樹脂処理後二重密封	m ²	312.0	
作業区域清掃費		m ²	312.0	
打継ぎシーリング撤去	20×10 アスベスト含有	m	134.0	
2) 内部				
アスベスト含有接着剤除去	ビニル巾木部	m	258.0	
アスベスト含有接着剤除去	サラ巾木部	m	14.4	
3. 電気設備解体費				
1) 電灯幹線設備撤去				
電線 撤去	IV22sq 管路内	m	68.0	
ケーブル 撤去	CV22sq-3C 管路内	m	3.0	
ポリエチレン管 撤去	22mm 露出	m	3.0	
開閉器箱 撤去		個	1.0	
電灯分電盤 撤去	L1-1	面	1.0	
電灯分電盤 撤去	L2-1	面	1.0	
2) 電灯分岐設備撤去				
電線 撤去	IV1.6mm 管路内	m	457.0	
電線 撤去	IV2.0mm 管路内	m	6.0	
ケーブル 撤去	VVF1.6mm-2C 天井内	m	123.0	
ケーブル 撤去	VVF1.6mm-3C 天井内	m	27.0	
ケーブル 撤去	VVF2.0mm-2C 天井内	m	15.0	
ケーブル 撤去	VVF1.6mm-3C 管路内	m	6.0	
耐衝撃性硬質ビニル電線管 撤去	16mm 露出	m	6.0	
照明器具 撤去	FL20W-1 露出	個	7.0	
照明器具 撤去	FL20W-2 埋込	個	7.0	
照明器具 撤去	FL20W-3 露出	個	1.0	
照明器具 撤去	FL20W-2 露出	個	2.0	
照明器具 撤去	FL40W-1 露出	個	18.0	
照明器具 撤去	FL40W-2 露出	個	2.0	
照明器具 撤去	FL40W-2 埋込	個	9.0	
照明器具 撤去	HF32W-1 露出	個	1.0	
照明器具 撤去	HF32W-2 埋込	個	39.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
照明器具 撤去	HF32W-3 埋込	個	2.0	
照明器具 撤去	LED100形 投光器	個	3.0	
照明器具 撤去	LED40形 露出形	個	1.0	
埋込スイッチ 撤去	1P15A×1	個	3.0	
埋込スイッチ 撤去	1P15A×2	個	5.0	
埋込スイッチ 撤去	1P15A×3	個	5.0	
埋込スイッチ 撤去	1P15A×4	個	1.0	
埋込スイッチ 撤去	1P15A×1+3W15A×1	個	1.0	
埋込スイッチ 撤去	3W15A×1	個	2.0	
埋込スイッチ 撤去	3W15A×2	個	1.0	
自動点滅器 撤去	100V 3A	個	3.0	
プルボックス 撤去	SS-C 150×150×100	個	2.0	
3) コンセント分岐設備撤去				
電線 撤去	IV2.0mm 管路内	m	306.0	
ケーブル 撤去	VVF2.0mm-2C 天井内	m	179.0	
埋込コンセント 撤去	2P15A×2	個	35.0	
プルボックス 撤去	SS-C 150×150×100	個	6.0	
ハネスジョイントボックス 撤去	2分岐	個	5.0	
4) 動力幹線設備撤去				
電線 撤去	IV5.5sq 管路内	m	3.0	
ケーブル 撤去	CV38sq-3C 天井内	m	5.0	
ケーブル 撤去	CV38sq-3C 管路内	m	17.0	
ポリエチレン管 鋼管 撤去	16mm 露出	m	3.0	
ポリエチレン管 鋼管 撤去	54mm 露出	m	17.0	
プルボックス 撤去	WP-SUS 400×400×200	個	1.0	
アコン動力盤 撤去		面	1.0	
5) 動力分岐設備撤去				
電線 撤去	IV3.5sq 管路内	m	57.0	
電線 撤去	IV5.5sq 管路内	m	52.0	
電線 撤去	IV8sq 管路内	m	296.0	
ケーブル 撤去	VVF1.6mm-3C 天井内	m	50.0	
ポリエチレン管 鋼管 撤去	22mm 露出	m	28.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
ホ°リチライニング°鋼管 撤去	28mm 露出	m	10.0	
ホ°リチライニング°鋼管 撤去	36mm 露出	m	17.0	
フルボックス 撤去	WP-SUS 200×200×200	個	3.0	
フルボックス 撤去	WP-SUS 400×400×200	個	1.0	
6) 構内交換設備撤去				
ケーブル 撤去	BTIEE0.4mm-2P 天井内	m	126.0	
ケーブル 撤去	BTIEE0.4mm-2P 管路内	m	38.0	
ケーブル 撤去	CCP-P0.5mm-10P 天井内	m	11.0	
ケーブル 撤去	CCP-P0.5mm-10P 管路内	m	48.0	
モジュラプレート 撤去		個	5.0	
ローテンション 撤去		個	9.0	
端子盤 撤去	1F 300×300×150	個	1.0	
端子盤 撤去	2F 400×600×150	個	1.0	
電話主装置 撤去		台	1.0	
電話器 撤去		台	7.0	
7) 誘導支援設備撤去				
電線 撤去	IV1.2mm 管路内	m	17.0	
呼出ボタン 撤去		個	1.0	
インターホン親機 撤去		個	1.0	
8) テレビ共聴設備撤去				
ケーブル 撤去	同軸5C-FB 管路内	m	47.0	
直列ユニット 撤去		個	2.0	
TV機器収容箱 撤去		個	1.0	
分岐器 撤去		個	1.0	
9) 非常警報撤去				
電線 撤去	HIV1.6mm 管路内	m	6.0	
非常警報装置 撤去		個	2.0	
4. 機械設備解体費				
1) 機器類撤去				
(1) 冷房機器				
冷専パッケージエアコン ACP-1	室内外機、壁掛形、 冷媒能力4.5kW	台	1.0	
冷専パッケージエアコン ACP-2	室内外機、壁掛形、 冷媒能力14.0kW	台	3.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
冷専パッケージエアコン ACP-3	室内外機、壁掛形、 冷媒能力10,0kW	台	1.0	
冷媒フロン回収	冷却能力 4.5kW	台	1.0	
冷媒フロン回収	冷却能力 14.0kW	台	3.0	
冷媒フロン回収	冷却能力 10.0kW	台	1.0	
(2)暖房機器				
F F ファンヒーター	壁埋込形、H:2.5～7.1kW	台	14.0	
灯油ホームタンク	鋼板製、490L	基	2.0	
自動給油装置 OPT-81UC	灯油用、落差供給式	台	4.0	
(3)換気機器				
全熱交換器 HEX-1	壁埋込形、量:100～65m ³ /h 壁扇30cm	台	1.0	
ウェザーカバー	電源:1φ×100V 消費電力 30W	個	1.0	
全熱交換器 HEX-2	天吊露出形 200φ、 風量:490～300m ³ /h	台	1.0	
全熱交換器 HEX-3	天吊露出形 200φ、 風量:650～500m ³ /h	台	1.0	
換気扇 F-1	風量:300m ³ /h、20cm	台	1.0	
ウェザーカバー	20cm用	個	1.0	
換気扇 F-2	天吊露出形 150φ、 風量:635～380m ³ /h	台	2.0	
換気扇 F-3	標準形 200φ、風量:460m ³ /h	台	1.0	
排風機 FE-1	多翼形排風機, エニット形, 内貼ケシング, 天井吊形 #1 1/4×710m ³ /h×10mmAq×200W	台	1.0	
排風機 FE-2	多翼形排風機, エニット形, 内貼ケシング, 天井吊形 #1 1/4×200m ³ /h×6mmAq×100W	台	1.0	
ガス湯沸器	貯湯式、置台形、貯湯量:11L	台	1.0	
ガス湯沸器	屋内壁掛式 5号	台	1.0	
(4)衛生機器				
洋風大便器	ロータンク式	組	3.0	
小便器	VU-320、ストール形	組	1.0	
小便器	VU-420、壁掛ストール形	組	2.0	
洗面器	VL-630	組	3.0	
掃除用流し	VS-210、共栓式	組	1.0	
流し(小形)	VK-130	組	1.0	
化粧鏡		枚	3.0	
化粧棚		個	1.0	
水石けん入れ	立形 350cc	個	3.0	
2)配管類撤去				

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
(1)冷媒管				
冷媒用被覆銅管	ガス管、12.7φ	m	7.9	
冷媒用被覆銅管	ガス管、19.05φ	m	51.8	
冷媒用被覆銅管	液管、6.35φ	m	7.9	
冷媒用被覆銅管	液管、9.52φ	m	51.8	
(2)油管				
油管撤去（配管用炭素鋼鋼管）	屋内一般、ガス管 15A	m	43.0	
油管撤去（配管用炭素鋼鋼管）	屋外配管、ガス管 15A	m	5.0	
(3)灯油管				
油管撤去（灯油用被覆銅管）	屋内一般、CU管 8φ	m	94.0	
油管撤去（灯油用被覆銅管）	屋内一般、露出、VP管 13A	m	8.0	
(4)給水管				
硬質塩化ビニル管	地中配管、屋外、VP管 20A	m	21.0	
硬質塩化ビニル管	地中配管、屋外、VP管 25A	m	48.0	
硬質塩化ビニル管	地中配管、屋外、VP管 125A	m	4.0	
(5)排水管				
水配管用亜鉛めっき鋼管	地中配管、SGPW管 40A	m	17.0	
水配管用亜鉛めっき鋼管	地中配管、SGPW管 50A	m	12.0	
水配管用亜鉛めっき鋼管	地中配管、SGPW管 65A	m	14.0	
硬質塩化ビニル管	地中配管、屋内、VP管 40A	m	1.0	
硬質塩化ビニル管	地中配管、屋内、VP管 50A	m	11.0	
硬質塩化ビニル管	地中配管、屋内、VP管 100A	m	12.0	
排水用鋳鉄管	地中配管、屋外、CIP管 100A	m	1.0	
(6)污水管				
硬質塩化ビニル管	地中配管、屋外、VP管 100A	m	33.0	
(7)通気管				
水配管用亜鉛めっき鋼管	地中配管、SGPW管 50A	m	3.0	
硬質塩化ビニル管	地中配管、屋内、VP管 100A	m	1.0	
(8)雨水・排水管				
遠心力鉄筋コンクリート管	地中配管、屋外、HP管 150A	m	1.4	
硬質塩化ビニル管	地中配管、屋外、VP管 20A	m	1.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
硬質塩化ビニル管	地中配管、屋外、VP管 75A	m	6.0	
硬質塩化ビニル管	地中配管、屋外、VP管 150A	m	37.0	
(9)計器				
液面指示計	室内壁取付型 100×96×260	個	1.0	
液面指示計	発信部 100φ×1000	個	1.0	
(10)弁・水栓				
水抜栓	20A, 25A、MT形 600L	個	5.0	
不凍水栓柱	20A, 30φ	個	2.0	
水抜栓用ハルフボックス	B6-L	個	6.0	
自在水栓	15-F15	個	3.0	
カップリング横水栓	13A	個	1.0	
耐寒ホースラン	15A	個	3.0	
量水器	15A、返却	個	1.0	
(11)排水金物				
床上掃除口	COA 40A	個	7.0	
床上掃除口	COA 50A	個	2.0	
床上掃除口	COA 65A	個	1.0	
床上掃除口	COA 100A	個	2.0	
床上掃除口	COB 50A	個	1.0	
床上掃除口	COB 100A	個	2.0	
通気口	VA-2 100A	個	1.0	
オイル阻集器	40L, SUS製	台	2.0	
ボンベ切替装置	屋外、20kg×2本立	組	1.0	
3) 柵類撤去				
(1)柵				
ため柵（蓋含む）	350×350	個	2.0	
ため柵（蓋含む）	450×450	個	8.0	
ため柵（蓋含む）	600×600	個	1.0	
インバート柵（蓋含む）	350×350	個	1.0	
インバート柵（蓋含む）	450×450	個	1.0	
インバート柵（蓋含む）	600×600	個	4.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
4) 配線類撤去				
(1) 配線類				
電線	IV2.0mm、 ケーブルナゲット処理を含む	m	266.0	
薄鋼電線管	C19	m	18.0	
自動制御機器		個	2.0	
5. 外構解体撤去費				
1) その他				
(1) 擁壁撤去				
コンクリートブロック解体	圧碎機主体	m3	11.9	
基礎コンクリート解体	大型ブレイカ・圧碎機併用	m3	6.7	
捨てコンクリート解体	大型ブレイカ・圧碎機併用	m3	1.8	
(2) 舗装撤去				
縁石コンクリート撤去	150×150 捨てコン共	m	6.1	
アスファルト舗装撤去	t=50	m3	34.0	
ステンレスバリカー撤去		箇所	3.0	
バリカー基礎コンクリート撤去	大型ブレイカ・圧碎機併用	m3	0.1	
(3) 防油堤・屋外掲示板				
基礎コンクリート解体	大型ブレイカ・圧碎機併用	m3	2.2	
捨てコンクリート解体	大型ブレイカ・圧碎機併用	m3	0.2	
屋外掲示板撤去	処分共	箇所	1.0	
カーブミラー撤去	処分共	箇所	1.0	
2) 整地・立入防護柵他設置				
埋戻し	場内発生土 整地共	m3	2.5	
埋戻し（購入土 埋戻し用山砂）	山砂 整地共	m3	26.5	山砂は20%の割増しを含む。
敷地整地	10～20cm程度	m3	158.0	
砂利敷き	t=100 再生クラッシュランRC-40	m ²	1,053.0	RC-40は16%の割増しを含む。
立入防護柵設置（H=1.5m）	松丸太 末口φ90 L=2000 亜鉛メッキ鉄線張り 井8φ4mm3段	m	99.0	
控え松丸太設置	φ90mm L=2m 9本 かすがいφ6mm L=90mm 亜鉛メッキ18本	式	1.0	
開口部鉄鎖（H=1.5m）	ステンレス鉄鎖 ステンレス打込丸環φ5mm	箇所	1.0	真ちゅう錠前
有価材置場囲い（H=1.8m）	波形亜鉛鉄板 全損 B=20m 運搬含む	式	1.0	
6. 産業廃棄物処理費				

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
1) 発生材積込運搬費				
(1) 発生材積込				
積込(コンクリート殻、くず)	パッキン0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	43.7	
積込(アスファルト殻、くず)	パッキン0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	34.0	
(2) 発生材運搬費				
運搬(コンクリート殻、くず)	DT10.0t 運搬距離L=2.0km以下	m ³	600.0	
運搬(アスファルト殻、くず)	DT10.0t 運搬距離L=2.0km以下	m ³	34.0	
運搬(木くず)	DT10.0t 運搬距離L=14.0km以下	m ³	5.2	
運搬(廃プラスチック)	DT10.0t 運搬距離L=31.5km以下	m ³	20.7	
運搬(アスファルト防水)	DT10.0t 運搬距離L=11.0km以下	m ³	2.5	
運搬(石膏ボード類)	DT10.0t 運搬距離L=11.0km以下	m ³	5.0	
運搬(畳、繊維くず)	DT10.0t 運搬距離L=11.0km以下	m ³	0.5	
運搬(陶磁器くず、タイル)	DT10.0t 運搬距離L=31.5km以下	m ³	1.8	
運搬(ガラス)	DT10.0t 運搬距離L=31.5km以下	m ³	3.5	
運搬(非飛散性アスベスト)	DT10.0t 運搬距離L=31.5km以下	m ³	6.4	
運搬(電気混合物)	DT10.0t 運搬距離L=7.0km以下	m ³	0.1	
運搬(保温材)	DT10.0t 運搬距離L=31.5km以下	m ³	2.7	
運搬(廃蛍光灯)	DT10.0t 運搬距離L=60.0km以下	m ³	0.2	
有価材運搬・計量・集積	DT10.0t 運搬距離L=0.3km以下	m ³	72.8	
2) 発生材処理費				
(1) 建築解体工事発生材処理費				
処理費(コンクリート殻、くず)	無筋コンクリート	t	1,204.0	
処理費(アスファルト殻、くず)		t	80.0	
処理費(木くず)		t	2.0	
処理費(廃プラスチック)		t	2.6	
処理費(アスファルト防水)		t	3.8	
処理費(石膏ボード類)		t	4.3	
処理費(畳、繊維くず)		t	0.1	
処理費(陶磁器くず、タイル)		t	0.4	
処理費(ガラス)		t	1.7	
処理費(非飛散性アスベスト)		t	4.5	
(2) 電気設備解体工事発生材処理費				

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
処理費(電気混合物)		t	0.1	
処理費(廃蛍光管)		kg	32.0	
(3)機械設備解体工事発生材処理費				
運搬(コンクリート殻、くず)	無筋コンクリート	t	14.0	
処理費(廃プラスチック)		t	0.5	
処理費(陶磁器くず、タイル)		t	0.7	
処理費(保温材)		t	0.1	
(4)産業廃棄物税				
産業廃棄物税		t	13.1	
II. 共通費				
1. 共通仮設費				
1) 共通仮設費 (積上げ)				
仮囲い設置・撤去	メッシュシート張り H=3.0m 5箇月、運搬共	m	57.5	
シートゲート設置・撤去	W5400×H4500 5箇月	箇所	1.0	
仮設敷き鉄板設置・撤去	出入口、5箇月 t 22×1,524×6,096mm	m ²	36.0	
仮設敷き鉄板設置・撤去	杭引抜工事、1箇月 t 22×1,524×6,096mm	m ²	135.0	
仮設敷き鉄板転用	杭引抜工事 t 22×1,524×6,096mm	m ²	81.0	
仮設敷き鉄板設置・撤去	杭引抜工事、1箇月 t 22×1,524×3,048mm	m ²	18.0	
仮設敷き鉄板運搬	11t車	m ²	189.0	
草刈	刈払い・集積	m ²	570.0	
運搬(除草)	10t車	空m3	15.0	
交通誘導警備員B		人	20.0	
2) 共通仮設費 (率計上)		式	1.0	
2. 現場管理費		式	1.0	
3. 一般管理費等		式	1.0	